

●償却資産申告書等の記入例●

2枚1組の複写用紙になっています。

切り離さないでください。

主たる事業項目を記入してください。

個人番号又は法人番号の記入欄です。

経理を委任している税理士等の氏名および電話番号を記入してください。

令和 3 年 1 月 15 日
枚方市長
令和 3 年度
償却資産申告書(償却資産課税台帳)

※所有者コード
7700000

1 住所	〒573-0027 大阪府枚方市大垣内町2丁目1番20号 (電話 072-841-1221)	3 個人番号又は法人番号		8 短縮耐用年数の承認	有・ <input type="radio"/> 無
		4 事業種目(資本等の金額)	自動車販売業 (百万円)	9 増加償却の届出	有・ <input type="radio"/> 無
2 氏名	(ふりがな) ヒラカタ イチロウ 枚方 花子 (電話 072-841-1221) (屋号 枚方ショップ)	5 事業開始年月	(枚方市において) 年 月	10 非課税該当資産	有・ <input type="radio"/> 無
		6 この申告に回答する者の係及び氏名	枚方 花子 (電話 072-841-1221)	11 課税標準の特例	有・ <input type="radio"/> 無
		7 税理士等の氏	枚方太郎税理士事務所 (電話 072-841-1221)	12 特別償却又は圧縮記帳	有・ <input type="radio"/> 無
				13 税務会計上の償却方法	<input checked="" type="radio"/> 法・ <input type="radio"/> 定額法
				14 青色申告	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無

資産の種類	取 得 価 額				計((イ)-(ロ)+(ハ))
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)		
1 構築物	4,141,400	964,400	175,000	3,352,000	
2 機械及び装置	809,000	210,000	4,817,000	5,416,000	
3 船舶					
4 航空機					
5 車両及び運搬具					
6 工具、器具及び備品	2,030,000	1,430,000	2,410,000	3,010,000	
7 合計	6,980,400	2,604,400	7,402,000	11,778,000	

資産の種類	評 価 額		決 定 価 格	課 税 標 準 額
	(イ)	(ロ)		
1 構築物				
2 機械及び装置				
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品				
7 合計				

15 市(区)町村内における事務所等資産の所在地

① 大垣内町2丁目1番20号(事務所)
② 津田北町2丁目〇番〇号(工場)

※枚方市以外における事業所の有無 有・無

16 借用資産 (有・無) 有・無

貸主の名称等
パソコン…(株)リース枚方
FAX…大垣内リース(有)

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家

18 備考(添付書類等)

該当する番号に〇印を付けてください

1 増加減少資産あり (別紙種類別明細書を作成)

2 昨年の申告資産に増減なし

3 該当する資産なし

4 廃業・解散・市外移転等 (年 月 日)

5 その他(具体的に記入してください)

チェック欄(記入不要)

宛名	課税台帳	オン	課税	申	増	減

前年前に取得した資産の取得金額の合計額を資産の種類別に印字しております。

該当する方に〇を付けてください。

借用資産(リース資産)の有無について該当する方に〇を付けてください。また、ある場合は資産の名称・貸主名を記入してください。

1~5で該当する番号に〇をつけてください。

廃業・解散・市外移転等で該当する項目に〇をつけてください。

例)
・登記上の所在地は枚方市ですが〇〇市で営業
・〇〇年〇月法人設立。資産は、〇〇〇から引き継いだ。

この欄の合計額は、種類別明細書(減少資産用)の取得価額の合計欄と同じです。

この欄の合計額は、種類別明細書(増加資産用)の取得価額の合計欄と同じです。

今年度の資産の合計額を計算のうえ記入してください。
(計算方法:(イ)-(ロ)+(ハ)=(二)合計)

- ・前年中に取得した資産
- ・前年度以前に取得し申告していない資産（申告漏れ分）を記入してください。

- 資産の種類に対応する1から6までの数字を記入してください。
1. 構築物（建物付属設備を含む）
 2. 機械および装置
 3. 船舶
 4. 航空機
 5. 車両および運搬具
 6. 工具、器具および備品

取得年月の書き方
 (例1)平成31年3月
 年号:4
 年:31
 月:3
 (例2)令和2年11月
 年号:5
 年:2
 月:11

国税における法人税又は所得税の申告において減価償却明細に記載された取得年月や取得価格、耐用年数を記入してください。

令和3年度		種類別明細書（増加資産・全資産用）										所有者名		1枚のうち		
※所有者コード		7700000										枚方一郎		1枚目		
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等 (漢字・ひらがな・カタカナ・英数字等で)	数量	取得年月			(イ) 取得価額			(ロ) 耐用年数	(ハ) 減価償却率	※課税標準額		増加事由	摘要
					年号	年	月	十	百	千			円	十		
01	1		看板	1	5	2	3				20	0.			1・2 3・4	
02	2	記入する必要はありません	走行クレーン	1	5	2	2	4	817	000	15	0.			1・2 3・4	
03	6		テレビ	1	5	2	11	200	000	5	0.			1・2 3・4		
04	6		キャビネット	1	0	5	110	1	200	000	15	0.			1・2 3・4	申告もれ
05	6		クーラー	1	4	4	1	210	000	6	0.			1・2 3・4	2→6 種類変更	
06	6		パソコン	1	4	1	412	300	000	5	0.			1・2 3・4	取得年月変更	
07	6		金庫	1	4	2	57	500	000	20	0.			1・2 3・4	耐用年数変更	
08											0.			1・2 3・4		
09											0.			1・2 3・4	その他の例	
10											0.			1・2 3・4	交野支店より移動	
11											0.			1・2 3・4	法第349条の3 第1項	
12											0.			1・2 3・4	増加償却	
13											0.			1・2 3・4		
14											0.			1・2 3・4		
15											0.			1・2 3・4		
16											0.			1・2 3・4		
17											0.			1・2 3・4		
18											0.			1・2 3・4		
小計				16				7	402	000						

注意 「年号」の欄は、昭和…3、平成…4、令和…5と記入してください。
 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。

当該資産について
 次のような事項を記入してください。

・申告もれ資産についてはその旨を記入してください。

・資産の種類・取得年月・耐用年数の変更があった場合は、その旨を記入してください。

・法人で、他市の支店から移動による受入れがあった場合は、移動前の市町村名を記入してください。

・課税標準の特例がある資産については、その旨と適用条項を記入してください。

・増加償却を行っている資産についてはその旨を記入してください。

・その他当該資産の価格の決定にあたって必要な事項

- ・前年までに申告された資産を全て印字しております。
 - ・減少した資産、一部減少した資産、内容に誤りや変更のある資産について記入してください。
- 〔修正・変更の内容は種類別明細書(増加資産用)に改めて記入してください。〕

減少・変更のある資産の行番号に○印を付けてください。

令和 3 年度											所有者名		
※所有者コード		7700000				枚方一郎		1枚のうち		1枚目			
行番号	資産の種類	抹消コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	申告年度	減少の事由及び区分		摘要
					年号	年	月				1売却2減失 3移動4その他	1全部 2一部	
01	1	131	アスファルト舗装	1	3	63	2	2,529,000	10		1・2・3・4	1・2	
02	1	189	門柱	1	4	3	2	648,000	10		1・2・3・4	1・2	
03	1	191	看板	1	4	3	2	964,400	10		1・2・3・4	1・2	
04	2	154	クーラー	1	4	4	1	210,000	13		1・2・3・4	1・2	2→6 種類変更
05	2	81	エアコンプレッサー	1	4	3	2	169,000	13		1・2・3・4	1・2	
06	2	9	フレームリフト	1	4	3	2	430,000	13		1・2・3・4	1・2	
07	6	871	コピー機	2	4	8	5	400,000	5		1・2・3・4	1・2	当初取得価額100万円(数量5)のうち、40万円(数量2)分減少
08	6	1000983	テレビ	1	4	10	8	230,000	5		1・2・3・4	1・2	
09	6	1001454	パソコン	1	4	15	1	300,000	4		1・2・3・4	1・2	取得年月変更
10	6	1001456	金庫	1	4	25	7	500,000	20		1・2・3・4	1・2	耐用年数変更
11											1・2・3・4	1・2	
12											1・2・3・4	1・2	
13											1・2・3・4	1・2	
14											1・2・3・4	1・2	
15											1・2・3・4	1・2	
16											1・2・3・4	1・2	
17											1・2・3・4	1・2	
18											1・2・3・4	1・2	
小計				7				2,604,400					

当該資産について
次のような事項を記入してください。

- ・資産の種類変更をするとき
資産の種類を訂正して、改めて種類別明細書(増加資産用)に記入してください。
- ・資産の一部を減少するとき
減少部分に対応する数量と取得価額を記入してください。
減少区分は 2 に○を付けてください。
- ・取得年月の変更をするとき
取得年月を訂正して、改めて種類別明細書(増加資産用)に記入してください。
- ・耐用年数の変更をするとき
耐用年数を訂正して、改めて種類別明細書(増加資産用)に記入してください。
- ・名称変更をするとき
資産の名称を訂正してください。

減少した数量と取得価額を
記入してください。
〔耐用年数の変更、資産の種類変更、
取得価額変更するものを含む。〕